

共生舎 教室だより

2020年6月15日号
発行人 高橋 慎吾

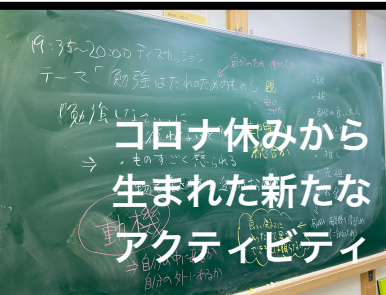
北海道スタイルの実践へ

当教室では、かねてより、感染拡大予防策を講じながら営業を継続してまいりました。そして、さらに安心な環境づくりのため、教室を大幅に模様替えしました。



教室模様替え

これにより、より多くの塾生さんが同時に教室をご利用頂けるようになりました。ダイニングテーブル席も密にならない程度にご利用頂けます。もともとのおびのびした環境で、少しずつでも学びをありのままの姿で深めていただけるようにしていましたが、さらにゆったりとご利用頂けるので「ホテルのレストランにいるみたい！」など新鮮な感想が聞こえてきます。



不定期ディスカッション開催

長引くコロナ休校、気の抜けない社会情勢。当教室の塾生さんたちにも、それぞれ何らかの思いが生まれているはずだ…と思っていたところ、ある塾生からのディスカッションの提案。

塾長としても、みんながそれぞれの視点でどう世の中をとらえているか気になっていたもので、即採用。これまでに通算で7回ほど開催しました。テーマは「学校再開に思うこと」「勉強は誰のためのもの?」といったものから、「怒りを回避するには?」などといった、日常のライフハックまで様々。普段思ってもなかなか言えないことを発言できる子供の眼差しは真剣そのものです。今後も月2回程度は実施していけたらと考えています。

みんなボトルから気になる?

当教室もやっとアルコールスプレーを設置することができました。入室時に皆様の手には「シュッ」とさせていただいております。ベタつかず手荒れもない使用感はさることながら、換気のために教室のドアを開けていると避けられない、小さい蛾などの虫にも効果があることがわかりました。消毒用アルコールとしてはおしゃれな瓶で、皆さんが結構気になっているようです。このアルコール、塾長が大学時代を過ごした小樽で作られているんです。田中酒造さんに行かれるか、ネットショップでお求めいただけます。発売に至った経緯なども、ホームページでご覧になると、地方の企業としての心意気を感じられるのではないかと思います。



当教室の消毒用アルコール

北海道スタイル



当教室も実践しております。宜しくお願い致します。

このご時世だからこそ

当たり前が当たり前でなくなる経験。今まで受け入れられていた、社会の仕組みや価値観の見直し。それは、誰かがどうにかしてくれるだけでなく、自らの考えや行動も、



コラム

反映されていく時代になるということです。

緊急事態宣言発出前後のこの教室の運営についても、実は、全く同じことがいえたのでした。日々二転三転する情勢、いつ決まるかわからない方針。それを待っているだけでは何も身動きがとれないので、毎日毎日が決断の連続でした。

そして思ったことは、寄せていただいたご意見やご要望には感謝の心で真摯に向き合うと同時に、決断は自分が下してきたことなので、自分でその結果を受け入れる覚悟が必要だということでした。この先も、体験したことのない事態が待ち受けているかもしれません。その時々で、自分たち自身に判断が求められる場面もあるでしょう。

今の生活には、いろいろ不便なことだらけだと思います。そして、休校明けの学習環境や進捗についても、各学校において実にまちまちになっていて、現場を預かる諸先生方も苦しんでいらっしゃるのではないかと拝察いたします。

このようなご時世だからこそ、自分の置かれている状況についてしっかり見つめ、自分のできることを磨き、そして、それを一呼吸おいて謙虚な気持ちで表していくことが大切であるように思います。当教室としても、学業はもちろんのこと、このコロナ休校前後で揺らぐ塾生さんたちの心に寄り添い、少しでも朗らかな時を過ごし、その中で新時代に求められるであろうことを学び合える場づくりに努めたく存じますので、今後とも宜しくお願い致します。

教室の大幅な模様替えに伴い、教室だよりの紙面も変えてみました。相変わらずに文字数が多いのですがまだ試行錯誤しておりますので、ご容赦下さいませ。

緊急事態宣言明けから、2週間経ち、新しい生活のスタイルを取り入れた暮らしに移行しています。しかし、例えば学校のクラスの「密」状態など、緊急事態宣言以前から大幅に変えられないこともあり、中には緊急事態宣言の再発出がなされるのではないかと不安になる子もいます。私たち大人も、ただ言うことを聞けとだけ言うのではなく、可能な限り子どもたちの悩みや不安にもっと向き合う必要があるように思うここ数ヶ月でした。

【塾生募集】中学生若干名 **いまなら入会金無料!**

